

# 農産部会 WESTブロック 小祝塾in 四国第2回

今年4月、大好評だったWESTブロックの「小祝塾in四国」。目からウロコが落ち、積極的に施肥設計に取り組んだ瀬川清幸さん（リバーサイド美し村）の成果は現代農業10月号でもご紹介されているとおり。今回誰がどんなウロコを落とすのか!? 場所を淡路島に移し、10月25・26日に第2回目を開催。32名が集合しました。

## Report

### ■玉ねぎ10tを目指す 荒木さんの秘密!?

サンサンクラブ荒木智恵美さんは、田んぼに刈り取った稲ワラと堆肥を鋤きこみ2ヵ月後に玉ねぎを定植します。田んぼのようなしまりやすい土はワラを入れることで酸素が入りふかふかの土になる。そして窒素が入ることでワラが分解されていく。2ヶ月という時間は分解にとってもいい。「高畝にしているので、適度な水分になり酸素も入りやすくなるのでワラが分解しやすい。荒起こしという起こし方も酸素が入りやすいのでワラの分解にいい。荒木さんがやっていることはとても理に適っている。勿論天性の勘ではなく科学的根拠に基づいてのことですよ?」とは小祝さん。ワラが分解され土の中のpHが安定してくる11月中旬に分析を行ない、定植前に硫酸苦土、水酸化苦土、どちらの苦土を入れるか決めるとよいそうです。「収穫目標は10t! 頑張りましょう」

次に見学したブロッコリー畑で小祝さんは苦土欠と診断。その場で土壌分析、参加者全員で比色を体験しました。「この瞬間が緊張します。診断どおりの色が出てないとボクの権威がなくなっちゃう(笑)」…結果は診断どおりでした。



サンサンクラブはなんと女性のみのグループ!

### ■農薬を考える前にミネラルバランスを考える

「有機をやっていると見落とされがちなのが、ミネラルバランスです。亀田

さんはどう変化がありましたか?」と小祝さん。今年なすの技術交流集会の幹事生産者(※1)となり飛躍的な成果を得た萩本・亀田有機農法研究会の亀田嘉さんは、「ミネラルバランスを考えたことで、病気の発生がこれまでより一ヶ月遅れた。生育のピーク時(お盆の頃)つまり3週間に1&が病気にならなかったのがとても大きかった。石灰、苦土の絶対量がこれまでなかった。それとバランス、ですね」とのこと。頼もしい事例に小祝さんも、「pH、ミネラルバランスができると、収量も上がり病気も減ってくる。作物の栄養価も変わるので、農薬を考える前にぜひ学んでください」。

そして講義は『ミネラルにはさまざまな役割がある』ことを中心に進められました。「石灰が多いと一般的な病気は防げる。石灰を植物の体内で有効に生かすにはペクチン酸カルシウムにしなければならない。そのペクチンの原料は苦土が光合成で作る」「植物の生長に必要なホルモンはオーキシン、その原料は亜鉛が関係している。オーキシンは窒素と一緒に動く」など、各ミネラルの役割とそれらの相関関係によって効果を発揮することも説明。

### ■ミネラルを考えた土作りは身体作り

「葉緑素と赤血球は構造がほとんど同じ。赤血球を増やすには青物を採らなければいけない。持久力を司るのは苦土、これも青物で補給。マンガンは歯や骨を強くし、ホウ素は骨粗相症の予防に。銅は血管が若々しくゴムのようになるために必要、植物でいうと葉が作った養分を生長点にもって行って正常な細胞にする役目」と、話は植物のみに留まらず、「医食同源。人間が健康であるための必要なミネラルは植物

から摂れる。十分摂れれば病気に罹りにくくなる。いまの野菜にはミネラルがないから人の病気が増えている」と小祝さん。ミネラルを考えた土作りはすなわち私たちの身体作りでもあるのです。

そして「ミネラルは有限。昔は下肥えを畑に戻しちゃんと循環させていた。現在の水洗トイレのように陸から海に流れてしまっはいけない。循環させなければイミがない。これこそが有機農業をやっていく意義でもあるのです」と地域環境にまで視野が及びます。

### ■ズバリ、有害因子を取り除くこと

「土作りとは何でしょう? 有機物、水分調整、物理性、腐植、団粒化、微生物、ミネラルバランス…これらを挙げて95点」。今回のお題はズバリ『有害因子を取り除くこと』。

例えば、おいしいお米作りに大事なものは硫化水素(※2)を発生させないこと。そのためには水酸化苦土を使う。硫酸苦土(MgSO<sub>4</sub>)は苦土が根から葉に吸われると硫黄が多量に残り土の中の水素とくっつき硫化水素になってしまう。水酸化苦土(Mg(OH)<sub>2</sub>)であれば残りは水素とくっつき水になる。いくらミネラルバランスや施肥設計を学び苦土をやればいいと気づいてもわざわざ有害因子を発生させてしまっは意味がない。

講義は元素記号や化学式の洪水でおなかいっぱい。「1回で解かった気になっても家に帰ると忘れてる。2回めでだいぶ飲み込め3回めには自分の中で咀嚼されこなれてくる……。またやりましょう!」まだまだやる気満々のWESTブロック小祝塾。次はどこで開催されるのでしょうか。楽しみです。

(事務局・島田)